



都市のただ中で、 エネルギーに歌い、 問いかける。「これでOK?」

出演(登場順):

ジョナサン・ジェレマイア・ピーチャム: 廣川三憲(ナイロン100℃) フィルチ/イード: 泉 陽二 シーリア・ピーチャム: 森山冬子 ジャラ銭のマサイアス: 宮下泰幸
マックヒース: 後藤英樹 ポリー・ピーチャム: 浅場万矢(種喰う客) 曲がり指のジェacob: 小長谷勝彦 のこぎりのロバート/警官: 綾田将一
ジミー/スミス: 沼田星麻(アマドリ) しなしなのウォルター/警官: 菊沢将憲 ブラウン: 柳内佑介 酒場のジェニー/娼婦: 榊原有美
酒場のジェニー/娼婦: 葛 たか喜代 酒場のジェニー/娼婦: 篠原和美 ルーシー: 水口早香((株)CRG)

演奏: 廻由美子(ピアノ) シュテファン・フツング(アコーディオン) 阿部大樹(シンセサイザー)

金融恐慌とナチス台頭の時代に一世を風靡したブレヒトの音楽劇を、イタリアを代表する演出家、ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティが、現代的視点をはらんだ「野外劇」として演出する。

今回の上演にあたっては全キャストをオーディションで選出。ふだん劇場に足を運ばない人も、一流の演出家と実力派の俳優たちが真剣勝負で作り上げた舞台に、ワンコインで触れられる。

荒廃した時代をたくましく生き抜く貧民たちの姿を通し、腐敗となれ合いに満ちた日常、体制を批判したブレヒトの精神、陽気で狼狽でありながら、切なさ、鋭さをも含んだ Kult・ヴァイルの名曲が、現代の東京にどのように響くのか。

池袋のビルの谷間でネオンを借景に繰り広げられる『野外劇 三文オペラ』をお見逃しなく!

ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ
(Giorgio Barberio Corsetti)

現代イタリア演劇を代表する演出家の一人。1976年にベネチア・ビエンナーレで映像を交えた新たな劇言語を提示し、話題を呼ぶ。1994年、「ヨーロッパ演劇の新たなリアリティ」賞受賞。1999年、ベネチア・ビエンナーレ演劇部門の芸術監督に就任し、サーカス作品にも門戸を開く。2014年、アヴィニョン演劇祭開幕演目として法王庁中庭で「ホンブルクの公子」を演出。オペラ演出も数多く手がけ、ミラノ・スカラ座では「トゥーランドット」等を演出。日本では、ラフォーレミュージアム赤坂にて、1991年「ラ・カメラ・アストラッタ / 抽象の部屋」、1992年「ある戦いの描写 カフカの作品より」を上演。また、SCOTサマー・シーズン2008にて「ロナルド・マクドナルドの物語」、SCOTサマー・シーズン2009にて「天と地のはざままで」を上演したほか、2016年には東京文化会館で上演されたゲルギエフ指揮によるマリインスキー・オペラ「ドン・カルロ」を演出。

『野外劇 三文オペラ』 ※上演言語: 日本語 ※小雨決行 ※開場は30分前

10月18日(木)~28日(日) (10月23日(火)休演)
毎夜19:00開演(10回公演) 上演時間: 約120分

作: ベルトルト・ブレヒト
音楽: Kult・ヴァイル
訳: 大同 淳

演出: ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ
音楽監督: 原田敬子
衣装デザイン: 澤田石和寛
メディアディレクション: イー・コール・レンツェッティ
ロンゾ・ブルーノ

直轄事業ディレクター: 横山義志
総合ディレクター: 宮城 聡

舞台監督: 有限会社ニクステージワークス
舞台美術: 坂本 遼
大道具: 大友健一郎(有限会社フルスクール)
重機オペレーション: 有限会社サンコウ
照明: 高田 政義、杉本 成也(RVU)

映像: 吉田 佳弘、奥住 彩夏(エディスクローブ)
音響: 小橋 亨(エディスクローブ)
歌唱指導: フランツ奈緒子
演出助手: 古川真央(syuz'gen)
通訳: 石川 若枝、本谷 麻子
制作: 植松 侑子、前原 拓也(syuz'gen)
宣伝美術: 棚田透(nix graphics)

会場: 池袋西口公園

東京都豊島区西池袋1-8-26

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。

<東京芸術祭直轄プログラム>

主催: 東京芸術劇場・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

共催: 合同会社syuz'gen

平成30年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)

東京芸術劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre



【東京芸術祭2018に関するお問合せ】

TEL: 03-6388-0119 [平日午前10時から午後6時まで]
(東京芸術祭組織委員会事務局)

【本公演に関するお問合せ】 合同会社syuz'gen(しゅつげん)

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-18-27 トルネード203

TEL: 03-4571-0773 FAX: 03-4333-0878 [E-MAIL] info@syuzgen.com

【チケット】(整理番号付)

自由席: 500円(税込)

※観覧無料エリアあり

※0歳から入場可能 ※必ず入鑑費可能

※車いすで観劇をご希望の方は

東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください

【チケット取り扱い】

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570-010-296

(休館日を除く午前10時から午後7時まで)

http://tmt.pia.jp/info/info-festival2018.jsp

(東京芸術祭2018 チケット特設サイト)

※インターネットでのチケットの購入には、芸術メンバーズへの登録(無料)が必要



【託児サービスのご案内】(事前予約制・有料)

東京芸術劇場 託児室(東京芸術劇場5階) 開演30分前から終演30分後までお預かり可能
対象: 生後3ヶ月から小学校入学前のお子さま(定員あり)

料金: [1才まで] 2,560円 [2才~6才(就学前)] 2,160円(税込)

申込: HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた

[TEL] 0120-415-306(土・日・祝祭日を除く平日、午前9時から午後5時まで)

ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件で」とお問い合わせください。

土・日・祝祭日を除くお預かり日1週間前までにお電話でご予約ください。

予告なく内容が変更になる場合があります。この公演は東京芸術祭2018の一環として行われます。